

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	日本植物生理学会2017（平成29年）第58回大会
演題名	Light-regulation of asexual reproduction in <i>Pediastrum duplex</i> (フタヅノクンショウモにおける無性生殖の光調節)
発表者	宮本なるみ[1]、*岩崎玲奈[2]、加藤翔太[1],[2]、児玉豊[3]、永田典子[4]、 <u>朝比奈雅志</u> [1],[2]、 <u>篠村知子</u> [1],[2] [1]帝京大学大学院・総合理工学研究科、[2]帝京大学理工学部、[3]宇都宮大学、[4]日本女子大学 (*H28年度植物分子細胞学研究室の卒研生)
内容	<p>群体性緑藻フタヅノクンショウモ (学名: <i>Pediastrum duplex</i>)の無性生殖サイクルでは、多核化、細胞質分裂、遊走子の放出という段階を経て新しい群体を形成する。本研究では、大学に隣接した宇都宮文化の森の森の池から単離培養したフタヅノクンショウモの無性生殖サイクルの進行に、光がどのように影響を及ぼすのかを解析した。その結果、暗所でも光合成産物である糖 (グルコース)を添加すれば、暗所でも多核化から多核化後の細胞質分裂や遊走子形成までは進行すること、その後の新群体形成には光シグナルが必要であることが明らかになった。</p> <p>本研究は、宇都宮大学および日本女子大学との共同研究で実施し、本研究室の卒研生および本学大学院に進学した大学院生が主に担当した。</p>
関連画像	 